

AMED国産医療機器創出促進基盤整備等事業
文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラム「光の先端都市「浜松」が創成するメディカルフォトニクスの新技術」
JST地域産学官共同研究拠点整備事業「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業」

MEDICAL INNOVATION FORUM

メディカルイノベーションフォーラム

2017

平成29年 **12月1日** 金 **12:50～16:30** (情報交換会 17:00～19:00)
静岡新聞社・静岡放送 21世紀倶楽部 17F 静岡新聞ホール
静岡県浜松市中区旭町11-1 プレスタワー
(情報交換会会場 同ビル 7F)

主催: 浜松医科大学
共催: 静岡大学、豊橋技術科学大学、光産業創成大学院大学、静岡県、浜松市、浜松医工連携研究会(浜松商工会議所)
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

12:50～13:00

開会挨拶

来賓挨拶 文部科学省科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 課長 坂本 修一 氏

13:00～14:00

第一部 基調講演

サイバニクスによる医療イノベーション推進と社会実装

内閣府 ImPACT 革新的研究開発推進プログラム プログラム・マネージャー
筑波大学大学院 システム情報系・サイバニクス研究センター 教授・研究統括
CYBERDYNE 株式会社 代表取締役社長/CEO **山海 嘉之 氏**

プロフィール

筑波大学大学院教授、サイバニクス研究センター研究統括、CYBERDYNE(株)代表取締役社長/CEO、内閣府 ImPACT: 革新的研究開発推進プログラム プログラム・マネージャー。筑波大学サイバニクス研究センター長、内閣府 FIRST: 最先端サイバニクス研究プログラム研究統括、日本ロボット学会理事、評議員、欧文誌Advanced Robotics 理事、委員長等を歴任。日本ロボット学会フェロー、計測自動制御学会フェロー、世界経済フォーラム(ダボス会議) Global FutureCouncil(Human Enhancement)。



休憩(10分間)

14:10～15:10

第二部 パネルディスカッション

ベンチャービジネスによる医療イノベーション

■パネリスト

- 光産業創成大学院大学: 先端光産業経営分野 特任教授 **宇佐美 健一**
- 静岡大学: イノベーション社会連携推進機構 特任教授 コーディネータ **鈴木 俊充**
- 豊橋技術科学大学: 研究推進アドミニストレーションセンター特定准教授(URA) **土谷 徹**
- 浜松医科大学: 総合人間科学講座(生物学) 教授 **針山 孝彦**
- はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 事業総括 **松浦 脩博**

■モデレーター

浜松医科大学 理事(教育・産学連携担当)・副学長 **山本 清二**

15:20～16:10

総合討論

16:10～16:25

講評

16:25～16:30

閉会挨拶 静岡大学 理事(研究・社会産学連携担当) / 副学長 **木村 雅和**

17:00～19:00

情報交換会 (会場: 静岡新聞社・静岡放送21世紀倶楽部 7F) 【参加会費 4,000円 / 1名】



MEDICAL INNOVATION FORUM 2017

メディカルイノベーションフォーラム



開催趣旨

メディカルイノベーションフォーラムは、浜松・東三河地域を中心とした医療分野の製品・技術開発の推進を目的として開催され、今回で第11回目を迎えます。

本地域はこれまで、文部科学省知的クラスター創成事業、浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション(文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム)、文部科学省革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)により、産学官が一体となって積極的に光・電子技術を基盤とした新産業創出を進めているところです。

一方、平成22年度からは「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」(JST地域産学官共同研究拠点整備事業)が設置され、医工連携活動を活発に展開してきました。加えて、平成27年度は浜松医科大学が国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の国産医療機器創出促進基盤整備等事業全国11拠点の1つとして、地域内外の医療機器企業の開発を担う人材の育成、そして新たな医療機器開発に関する医工連携活動の展開が期待されています。さらに、平成28年度には、文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラム支援対象地域に選ばれ、「光の先端都市「浜松」が創成するメディカルフォトニクスの新技術」をテーマとして益々医工連携、医療機器開発が活発になって参ります。

今回のメディカルイノベーションフォーラムにおきましても、医工連携活動の状況や課題を医療機器の開発に携わる多くの方々から知っていただくとともに、医療機器開発に関する取り組み、課題等について議論いたします。

医療機器の研究開発・技術開発・製品開発・事業化などに関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしております。

「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」とは?

平成21年度JST地域産学官共同研究拠点整備事業の採択を受けて、浜松医科大学を中心に平成23年度から本格的にスタートさせた事業。光・電子関連技術を核とする地域イノベーション戦略推進地域構想「浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション」において、連鎖的創出を目指す4つの新産業「次世代輸送機器産業」「新農業」「健康・医療産業」「光エネルギー産業」の一つである「健康・医療産業」を担うものです(「浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション」は平成28年度から「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム(文科省)」へ継続。平成29年に、光・電子技術を活用した未来創成ビジョンの実現に向け、地域の光・電子技術を基盤とした産業振興を推進する「フォトンバレーセンター」を(公財)浜松地域イノベーション推進機構内に設置)。

地域の強みを生かした産学官連携による連鎖的・継続的な新技術の事業化、オンリーワン・ナンバーワン製品の創出を推進することにより、健康・医療関連産業の基幹産業化、雇用の促進やベンチャー創出を通じて、本地域の活性化を目指しています。

国産医療機器創出促進基盤整備等事業とは?

医療ニーズを満たす医療機器の実用化が医療の発展に寄与することから、医療機関と医療機器企業との連携を効果的に進める必要があり、その鍵を握るのは医療機器の研究開発を担う人材という観点に立って、医療機関において医療機器の開発人材を育成することを通じて、医療機器開発を担う医療機関の体制を整備し、国内外の医療ニーズを満たす医療機器開発の推進を図るための事業です。

フォーラム
お問い合わせ先

国立大学法人浜松医科大学 光先端医学教育研究センター 産学官連携推進部 TEL.053-435-2681 URL:<http://www.hama-med.ac.jp/>

AMED国産医療機器創出促進基盤整備等事業

文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラム

JST地域産学官共同研究拠点整備事業「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業」

メディカルイノベーションフォーラム2017参加申込書

参加費 無料(情報交換会 4,000円/1名)

申込要領 下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。

申込期限 平成29年11月29日(水)

メディカルイノベーションフォーラム

参加申込書(国立大学法人浜松医科大学 光先端医学教育研究センター 産学官連携推進部)

FAX 053-435-2179

E-mail chizai@hama-med.ac.jp

企業・団体名		TEL	-	-
		FAX	-	-
所在地	〒			
所属・役職				
氏名				
E-mail				
情報交換会	出席 ・ 欠席		出席 ・ 欠席	